

＝香川大学＝
米エッカード大学生が表敬



エッカード大学(米国)の学生6名、教員2名が5月30日、香川大学の徳田インタールショナルオフィス長を表敬訪問した。写真。エッカード大学は、高松市と姉妹都市の関

係にあるセントピーターズバーグ市(フロリダ州)に位置し、2014年度以降、教育部を中心に交流している。

今回、訪問した学生は、主に環境学等を専攻している学生で、5月29日から6月16日までの約3週間、教育学部で実施している「さぬきエコプログラム」に参加し、主に、豊島の産廃不法投棄事件現場見学や島の環境体験ツアーなどを通じて、瀬戸内圏エリアにおける環境を学習した。

当日は、徳田インタールショナルオフィス長をはじめ、ロン留学生センター長、教育学部平教授、長竹国際グループリーダーが出迎えた。

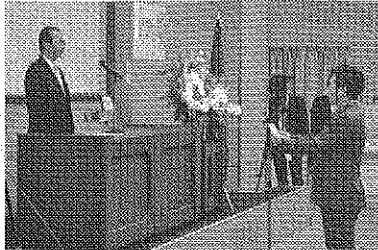
まず、徳田インタールショナルオフィス長から歓迎の挨拶とこのプログラムへ臨むにあたっての激励があり、次に、香川大学関係者と参加学生が互いに自己紹介などを行った。特に、参加学生は、日本語で、自らの専攻やプログラムへの参加意欲を語り、終始、和やかな雰囲気の中、今回の表敬訪問を終えた。

Ⅱ高知大学Ⅱ

個人情報保護研修会

高知大学医学部は5月30日、情報セキュリティ研究所長(㈱サンネット)個人情報保護士の小田部昭氏を講師に迎え、「個人情報保護と情報セキュリティ研修会」を開催した。研修会は、個人情報保護法の改正が5月30日に全面施行されることを受け、医学部附属病院の業務に携わるすべての職員が個人情報保護の重要性の理解を深めることを目的に開催された。

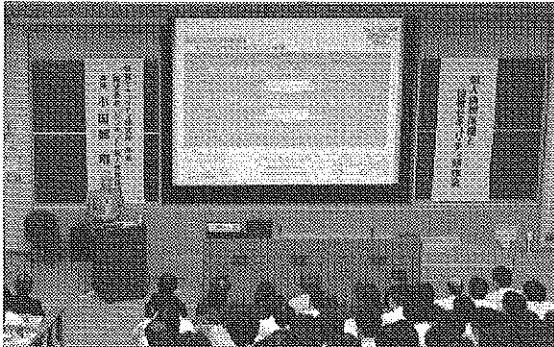
横山彰仁病院長による挨拶の後、情報セキュリティリスク、情報漏えいの実態、損害賠償額、また今回の法改正の主なポイントなどについて約1時間45分にわたり講演が行われ



高知大学は5月12日、「平成29年度土佐フッドビジネスクリエーター(FBC)人材創出事業 開講式」を挙行し、新規受講生(10期生)とともに新年度をスタートした。同大では平成20年度から高知県内の食品産業の担い手を育成する土佐FBCを文部科学省学術戦略推進事業として開始、平成25年度から高知県の寄附講座として運営しており、本年度で10年目を迎える。本年度は高知県全域から食品加工業従事者、一次産業従事者、自治体職員、団体職員、食品流通業者及び同大学生ら、計45名の新規受講生が年間を通じて食の専門的知識について学ぶ。

開講式では脇口宏学長による告辞の後、受講生代表者による宣誓が行われた。また、平山耕三南国市副市長から祝辞、受田浩之副学長から受講生の心得と激励の言葉が贈られた。事業は文部科学省職業実践力育成プログラム(BP)認定及び高知県内唯一の「国家戦略・プロフェッショナル検定・食の6次産業化プロジェクト(食PRO)」の認定機関として、食PROレベル1及びレベル2のプログラムを実施している。今年度受講生中38名が食PRO認定を目指している。

脇口学長(左)へ宣誓する受講生代表者(右)。ヨナル検定・食の6次産業化プロジェクト(食PRO)の認定機関として、食PROレベル1及びレベル2のプログラムを実施している。今年度受講生中38名が食PRO認定を目指している。



小田部氏の講演を聞く参加者たち。執印太郎理事(研究・医療担当)、本家孝一医学部長をはじめ約300名の職員等が熱心に聴講し、個人情報保護の重要性を再認識する研修会となった。